



子どもたちが植えたチューリップや水仙の芽が伸び、絹さやもしっかり支柱のまわりに巻き出し、梅の蕾が赤く膨らんできました。この寒さの中でも、少しずつ春の気配が訪れてきています。職員室からは、小松菜を生長させて菜の花を咲かせる計画と、色とりどりのヒヤシンスの鉢植えを栽培中です。進級・就学のお祝いの頃に咲くことを願っています。

これから、今の学年から他学年に様々な引継ぎがあります。お当番の仕方を教えたり、片付け方を教えたりイチゴなどの栽培物を託したりです。

きっとイチゴを託された子どもたちは、年中組さんがごちそうしてくれたジャムを自分たちがするんだ！！と期待が膨らんだと思いますし、園庭で遊んだ遊具や砂場シートなどを片付ける方法は、一人ではできず、友達と力を合わせてすることですが、教えてもらいながらこんなすごいことができた、これもまた楽しみな気持ちになると思います。

年長組のお休み調べでは、各組担任に人数を記載してもらい、職員室で報告をします。挨拶、副園長の質問への応答、各組の人数報告、人数を○に置き換えて書く、丸の合計数を書くなどを行っています。

園は人数を把握していますが、年長さんの経験として役割を作って任せています。友達と一緒に、自分たちの言葉を使って大人とやりとりをして報告や挨拶をする、とてもいい体験をしていると思っています。

また、報告の用紙は表になっているため、縦軸と横軸の意味が分かり、それぞれの枠の中にあるものを読み取っています。組の名前が読めるようになり、数字にも興味をもち一生懸命書いています。鬼ごっこの島の中と外の意味、ドッジボールの線の中と外の場所の意味など、線を隔ててそこに意味の違いがあることを様々な遊びや活動の中で体験を通して育まれてきました。

立春の前日、年の変わり目に邪気を払い、一年の無病息災を願うのが豆まきをする節分です。

立春の日、短い時間の展覧会開催ですが、子どもたちの表現という思いを感じご参加のみな様が幸せになりますように願っております。

